

「道路政策の質の向上に資する技術研究開発」(平成20年度採択)

事後評価結果

番号	研究名	研究代表者	評価
20-3	自転車等の中速グリーンモードに配慮した道路空間構成技術に関する研究	徳島大学大学院 教授 山中 英生	A

< 研究の概要 > 成果報告レポートより引用

我が国の都市交通における自転車等の中速グリーンモードの役割をふまえ、利用を支える道路空間システム(空間構成、ルール、情報提示)を構成する技術・政策体系の構築を目的として、道路交通政策、共存性(コンパティビリティ)、情報提示性(インフォマティビティ)に着目し、内外の情報を収集、分析し、実際の施策に資する指針を提案した。

< 事後評価結果 >

研究は中速グリーンモードを広く考慮したものではないと考えられるものの、政策、空間構成、情報提示という各分野について具体的な検討が行われ、自転車を主な対象に今後の方針案を提示しており、研究目的は達成され、十分な研究成果があったと評価する。

< 参考意見 >

1. 研究成果として、中速グリーンモードでの安心・安全確保のために必要な電子機器、通信機器に望まれる機能について分析を進めることにより、産業界のさらなる関心を喚起することが期待される。海外の例も参考に、視野を広めることで実務への反映を進めていただきたい。
2. 研究の目的・目標であった、道路空間構成技術に関わる技術開発の促進につながる、具体的な開発テーマを提示することが望まれる。
3. 海外調査では他国の良い所を中心とした整理となっていることから、自転車交通政策に伴う問題が他国に存在していないのか、今後の整理が期待される。
4. 成果が広く活用できるように、さまざまな手段により成果の普及を図っていただきたい。